

令和5年11月16日
世田谷保健所
健康推進課

思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツ周知啓発にかかる取組みについて

1 主旨

「思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス／ライツ（※1）周知啓発専門部会（※2）（以下「専門部会」という）での取組みについて報告する。

※1 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ：「性と生殖に関する健康と権利」と日本語では訳される。
※2 専門部会：委員名簿は次ページ参照

2 取組みの全体像

参考1のとおり（9月7日子ども・若者施策推進特別委員会 報告資料）

3 具体的な取組み内容

（1）教員向け研修実施結果について

別紙1・参考2のとおり

（2）リーフレット案の作成・発行、掲載項目について

別紙2・3のとおり

4 今後の主なスケジュール（予定）

令和5年11月22日 健康づくり推進委員会報告

12月11日 第7回専門部会

12月16日 保護者向けオンライン講演会

令和6年 2月 子ども・若者施策推進特別委員会報告

3月 思春期世代に向けた情報提供の試行と実践

第8回専門部会

健康づくり推進委員会報告

令和5年度

思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス/ライツ周知啓発専門部会委員名簿

(敬称略)

No.	所属	氏名	備考
1	東都大学沼津ヒューマンケア学部教授	松田 正己 ◎	健康づくり推進委員会委員
2	国立成育医療研究センター (周産期・母性診療センター母性内科)	荒田 尚子	プレコンセプションケア
3	明治学院大学社会学部教授	加藤 秀一	男女共同参画・多文化共生推進審議会
4	三軒茶屋メリーレディースクリニック	長岡 理明	世田谷区医師会推薦
5	みくりキッズくりにっく	本田 真美	玉川医師会推薦
6	東京都助産師会世田谷目黒地区分会	岩佐 寛子	助産師会代表
7	NPO法人ピルコン	染矢 明日香	
8	東京都立中部総合精神保健福祉センター	菅原 誠	健康づくり推進委員会委員、 子ども若者協議会思春期青年 期精神保健部会員
9	世田谷区立中学校PTA連合協議会	栄 裕美	健康づくり推進委員会委員 (令和4年6月より就任)
10	世田谷区中学校研究会 学校保健部長	加藤 ユカ	中学校長会 代表 弦巻中学校校長
11	世田谷保健所長	向山 晴子	
12	世田谷保健所 副所長	清水 昭夫	※
13	生活文化政策部 人権・男女共同参画課 長	生垣 明	
14	子ども・若者部 児童課長	寺西 直樹	※
15	世田谷保健所 感染症対策課長	高橋 千香	
16	教育委員会事務局副参事	井元 章二	(学校経営・教育支援担当)

◎部会長

※令和5年度から委員

教員向け研修実施結果について

1 目的

思春期の子どもたちが自身の悩みへの向き合い方を学び、自身や周囲の人たちを大切にしながら行動できるよう、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する正しい知識を得る機会とする。

2 開催日時、会場

令和5年10月31日（火）14時40分～15時30分、教育総合センター

3 対象、参加人数

区立小学校・中学校の生活指導主任 90名、
教育指導課指導主事 3名

4 講師

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科医長
医師 三戸 麻子氏

5 テーマ

「プレコンセプションヘルスケア(※) と

セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」

※プレコンセプションヘルスケア

若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康に向き合うこと。

6 内容

(1) 子どもたちや接する大人たちが、「性」や「妊娠・出産」、健康に生きるために必要なことについて、正しい知識を持とう

- ・プレコンセプションヘルスケア
- ・プレコンの本当の目的
- ・セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
- ・なぜプレコンセプションケアが大切なのか
- ・日本でプレコンセプションケアが必要な理由
- ・みんなでプレコン！
- ・性と妊娠・出産について話そう！

(2) 明るくポジティブに！「性や妊娠・出産」や「身体や心の変化」について会話しよう

- ・国際セクシュアリティガイドランスにおける性に関する教育
(妊娠、病気やHPV ワクチンなど、月経、ヘルスリテラシー、サポート機関へのアクセス他)
- ・世田谷区における取組み (STEAM 教育)

7 アンケート結果（世田谷保健所実施分） ※詳細は別添参考2のとおり

80名／90名中 回収率88.9%

【満足度について】

大変満足 35 (43.8%)、まあまあ満足 31 (38.7%) : 82.5%満足
普通 12 (15.0%)、やや不満 1 (1.3%)、大変不満 0 (0%)、未記入 1 (1.3%)

【全体を通して】

- ・プレコンセプションヘルスケアについて、ほとんど知らなかったが、大切なことを知ったと感じた。
- ・なぜリプロダクティブヘルスライツの考え方が必要なのか良くわかった。
- ・健康教育の必要性を性教育と絡めて再認識できた。
- ・自他ともに心身が健康であることが大切であることを具体的に理解できた。
- ・普段知ることができない内容であり、もっと時間をかけて詳しく聞きたい。
- ・女性特有のことだと考えていた面もあり、少し疎い面があった。教育者としても正しい知識を身に着けることが大切だと思った。
- ・自分自身が早い段階から知りたいと思ったのでとてもよかった。大人も知らない性について知識が得られた。
- ・他国の状況も含めて知識を得ることができた。教育の国際格差を感じた。日本も準じていくべきではと思った。
- ・専門的な話を医療の専門家から聞くことができてよかった。

【今後取り入れたい点】

- ・「自分を大切にする」という点からアプローチしていきたい。
- ・やせ願望が影響することを伝えていきたい。
- ・チェックシートは小学校高学年から取り組めると思った。保健の授業で取り入れたい。
- ・ヘルスリテラシーを子どもたちに伝えていくこと。
- ・養護教諭と相談しながら、性の授業や安全指導（教育）として取り入れ、実施したい。

【難しいと思った点】

- ・子どもたちへの指導にどう生かすかが課題。
- ・小学生に対してどのような指導が適しているのか難しいと思った。
- ・実際に生徒にどのように伝えていくか。伝える場や伝え方にまだ難しさを感じてしまう。
- ・子どもたちへ伝えるための時間確保が難しい。
- ・教育活動の中に取り入れたいが、教える側の知識や指導方法が不十分に感じた。
- ・どうしたら性の問題をオープンにできるのか。

【区で実施する講座等で期待すること】

- ・ヘルスリテラシーを中学生のうちから学ぶことが大切。ぜひ区の実践として各学校でゲストティーチャーを招いて授業してもらいたい。
- ・専門家による子どもたち向けの講座を学校で開催してほしい。

- ・本日の内容を中高向けに出張授業をしたらよいのではないかと思う。専門家に聞くことで冷やかしにならないと思う。
- ・現在ある授業（体育・家庭・道徳）にカウントできるかたちで学校向けに行ってほしい。
- ・思春期の心のもやもやにどのように接していくか、本人・教員・家庭のそれぞれの立場からわかる内容があると良い。
- ・「予期しない妊娠」「正しい避妊方法」「妊娠をめぐる健康問題」などを啓発してけると良い。
- ・相談施設の紹介
- ・生徒一人ひとりが性について考えるきっかけになるといいと思う。
- ・教員が授業で利用できる媒体（リーフレットや映像、コンテンツなど）を提供してほしい。
- ・本日のような内容を少しでも多く取り上げてほしい。

【生徒からの性に関する相談有無と内容】

ある：17（21.3%）

（内容）

- ・生理（周期や痛み、生理になってしまったらどうしたらよいか）
- ・性の多様性、性自認、性的指向
- ・コンドームの使用方法、予期しない妊娠、性的接触後の病気のリスク

【保護者からの性に関する相談内容】

ある：23（30.0%）

（内容）

- ・生理（宿泊行事中のこと、重い生理時の欠席）
- ・性自認（体育のときの着替え、親としてどう受け止めたらよいか）
- ・マスターベーション
- ・インターネット等情報とのかかわり方
- ・性教育、男女の体や発達

リーフレット作成・発行について

1 対象

中学生

2 掲載項目（案）（初版）

別紙3のとおり。

※現場の反応や状況を見て、第2版以降、項目の追加や内容をバージョンアップしていく。

3 活用方法（案）

試行段階では解説等があった方が望ましいことから、以下を想定

- ・区立中学校での産婦人科医や助産師による事業等での活用（希望者）
- ・区立中学校の養護教諭による保健室での活用（希望者）
- ・生涯学習課が実施する家庭教育学級でのPR
- ・区内国立・私立中学校への案内
- ・青少年交流センターや「らぷらす」での事業等での活用

4 発行

令和6年3月

5 印刷部数（初回分）

調整中

6 監修

令和3年度～5年度厚生労働科学研究費補助金 女性の健康の包括支援政策研究事業

「まるっと からだとこころの科学 まなブック」編集委員

西岡 笑子 氏（順天堂大学 教授 保健看護学部看護学科母性看護学）

高橋 幸子 氏（埼玉医科大学 助教 医療人育成支援センター・地域医学推進センター）

リーフレットの掲載項目（案）

1. 今この冊子を開いてくれている中学生のみなさんへ
 - ・中学生の頃から知っていると安心できることをまとめた
 - ・目次

2. ココロのこと
 - ・思春期のココロのモヤモヤ
 - ・分かり合える人と話すことで気持ちを整理できることもある
 - ・自分らしさってなに？
 - ・ボディイメージ
 - ・バウンダリーとは
 - ・(コラム) 依存症、摂食障害、自傷行為

3. カラダのこと
 - ・女性のカラダをもっていることでの変化
 - 女性ホルモンの効果
 - 妊娠できるカラダになっている
 - 正常な月経
 - 産婦人科受診の目安
 - ・男性のカラダをもっていることでの変化
 - 妊娠させることができるカラダになっている
 - ペニスの大きさと泌尿器科受診の目安
 - 包茎って？洗い方や受診の目安
 - ・(コラム) 誰もが持っている性の多様性

4. 妊娠のしくみ～どうやって赤ちゃんはできるの～
 - ・3つの性的接触
 - ・妊娠に至るプロセス
 - ・(コラム) 妊娠・出産の適齢期
 - ・(コラム) 家族の多様性

5. セルフプレジャーって？
 - ・セルフプレジャーのときの三原則
 - ・パートナーや他人に強制してはいけない

6. 付き合うってどういうこと？
 - ・好きな人とのお付き合いの仕方は人それぞれ、自分のペースで大丈夫
 - ・だれかと付き合わないといけないわけでもない

- ・デートDVって？～あなたと好きな人は「対等な関係」ですか？

7. 性的同意ってなに？

- ・性的な触れ合いは、どんなときでも、お互いの「同意」が必要
- ・「同意」とは、お互いの積極的な「YES！」がそろったとき
- ・ポルノや性的な動画は現実とは異なる
- ・性的なトラブルにあわないために
- ・(コラム) 性的なトラブルにあってしまったら

8. 思春期世代の妊娠・性感染症のこと

- ・10歳代の妊娠・出産による赤ちゃんへの影響
- ・性感染症と不妊との関係
- ・予期しない妊娠や感染症を防ぐには(コンドーム・低用量ピル・HPVワクチン)
- ・性交同意年齢
- ・(コラム) 人工妊娠中絶って？
- ・(コラム) 子どもの権利条約

9. 思春期のココロとカラダに関する情報元

- ・TOKYO YOUTH HEALTHCARE—10代からの健康・医療サイト—
- ・「デートDVって な・ん・だ・ろ・う」 他

10. リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉をご存じですか？

- ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは
- ・作成、監修、発行、発行年月

《全体像》

●思春期世代をとりまく状況

性感染症等の知識不足、知る方法は「インターネット」9割、「友達」2割。

区では高齢出産が多く、特定不妊治療の申請数も多い(R2年度1,455件、R3年度1,924件)。将来のライフプランを適切に選択できるための正しい知識を得る機会が少ない。

【中学生の悩みとその背景】※ワークショップより
・性教育の不足、知識・リテラシーの不足
・正しい情報が分からない
・周りとの比較
・社会的な性のタブー視
・相談相手がいない、聞いても解決しない

若者世代における梅毒等の性感染症の増大(都の10代梅毒報告数R2年度27件→R3年度63件)

HPVワクチン接種積極的勧奨の再開

区では、10代の望まない妊娠は減少傾向だが、依然として複数例存在。

●区で取り組む意義と必要性

- ・インターネット等により偏った情報が氾濫する中で、思春期世代が、性に関わる重大な事態を予防し、正しい知識や安全な相談先を知ることで、適切な行動がとれるようになる必要がある。
- ・将来の生き方に大きく関わる、妊娠・出産・子育て等の出来事について、自分らしい選択ができるために、思春期世代が自身の生涯にわたる心身の健康を意識し、行動できる必要がある。

思春期まずは中学生を対象にする

●健康せたがやプラン（後期）推進の基本的な考え方

- 1 区民の主体的な行動と継続
- 2 地域での協働・参画と連携
- 3 科学的根拠に基づく施策の展開
- 4 健康に係わる安全・安心の確保
- 5 予防と新たな健康の創造

●計画上の位置づけ

【保健】「健康せたがやプラン(第二次)」(平成24年度～令和5年度)

◆思春期の健康づくり

- 「施策1 主体的な健康管理のための基本的な知識とそれを実践する力の育み」
- ・思春期世代が自分のからだや健康を大切に思う気持ちを育むこと
- ・健康に関する正しい知識を習得する機会の提供

【人権】「第二次男女共同参画プラン」後期計画(令和4年度～8年度)

◆「性差に応じたところと身体への健康支援」

- ・男女が互いの身体的な性差を理解し合い、子を産み育てることに関わる健康と権利(自己決定権)への配慮、性差を考慮した健康支援の推進
- ・性差や年代によって異なる健康問題に応じた意識啓発や情報の提供
- ・人権教育としての視点を持ち、年代に応じた性教育への取り組み
- ・取り組みの実施にあたっては、多様な性に対しての適切な配慮が取れるよう、職員の理解促進

【教育】「第2次世田谷区教育ビジョン」調整計画(令和4・5年度)

◆乳幼児期から小・中学校における質の高い教育の推進

- ・「道徳」を中心とした道徳教育とともに、教育活動全体を通じた人権教育を推進
- ・性同一性障害や性的指向への理解の促進なども含め、多様性を認め合い、人権を尊重する姿勢をはぐくむ
- ・誰もが心もからだも満たされ、健康でいる権利「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ：性と生殖に関する健康と権利」について、世田谷保健所と連携、普及啓発

●子どもたちの行動目標(案)

行動目標①
からだやこころや性の健康に関心を持ち、正しい知識を得る方法を知っている

行動目標②
からだやこころや性の健康と権利を大切にし、健康や安全につながる行動がとれる

行動目標③
からだやこころや性について、悩んだり困ったりした時に、安全なところへ相談することができる

●必要とする情報 R5リーフレット作成

① 思春期の成長と悩み

思春期の体と性の成長
思春期のこころのモヤモヤ、悩み

月経・月経不順・月経時の体調不良と対処、病院受診のタイミング
性欲、マスターベーション、性器の大きさ、射精、包茎 など

②健康なからだところづくり(飲酒・摂食障害・薬物乱用含む)

ポティイイメージ
思春期に大切な食事
飲酒・摂食障害・薬物(市販薬)乱用
自傷行為、命の大切さ

③妊娠・出産の基本的知識

妊娠出産の基本的知識、
妊娠出産の経過(ポジティブに丁寧に)
自分達が大切な存在であるということ

④予期せぬ妊娠、子どもを持つこと

子どもを持つ持たないを自己決定する権利
出産適齢期
予期せぬ妊娠をしないために
避妊と中絶
中絶ができる時期
緊急避妊薬
子どもの命を守ること
里親制度や養子縁組

⑤恋愛と性的同意、性感染症予防

恋愛と性、性的同意の尊重
恋愛とコミュニケーション
性交
性感染症の症状と予防
不妊との関係、ピルとの関係
HPVワクチン接種と性感染症予防クリニックとの連携

⑥性自認、性の多様性、

多様な家族
多様な性
LGBTQ、性的指向や性自認
同性カップル、ステップファミリー、国際結婚とその子ども

⑦性情報との関わり方、安全な情報源と相談先

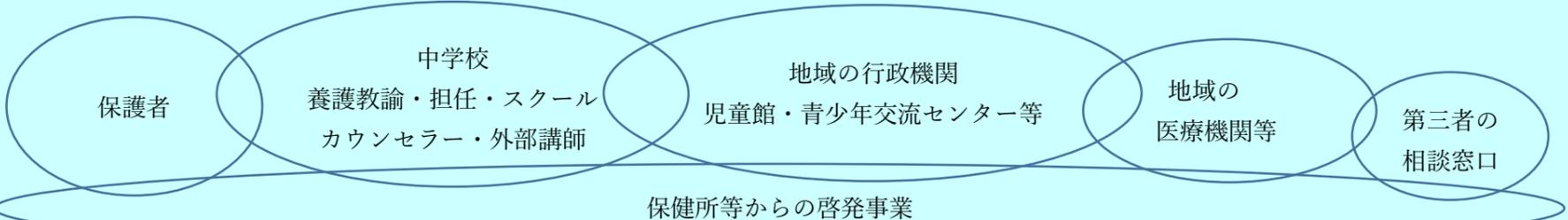
性被害に合わないために
信頼できる情報サイト
性情報の見分け方
安全な相談先(保護者も必要)

R5中高生のためオンライン講演会

●子どもたちを支える環境づくり【保護者・行政・学校・地域】～話せる場所・機会

※養護教諭アンケート、ワークショップより

～家庭だけでなく、身近な学校・地域全体で、包括的性教育を、当たり前伝えていけるよう、世田谷区に先例自治体になってもらいたい。



R5 保護者向けオンライン講演会

R5 講演会ちらしの周知 教員向け理解促進研修

R5 講演会ちらしの周知 リーフレットの配架

R5 リーフレットへの相談機関の掲載

令和5年10月31日「生活指導主任研修」事後アンケートご協力のおかげのお願い 回収80

本日はご参加いただき、ありがとうございます。今後、本事業をより良いものにするため、皆様のご意見を頂戴できればと思います。つきましては、下記アンケートにご協力をよろしくお願い致します。

なお、集計結果は、公表させていただくことがありますので、ご了承ください。

(1) 研修を受講するにあたって、期待していたことを教えてください。(複数回答可)

- ①性に関する知識を得たい15 ②性に関して生徒への伝え方や接し方を学びたい44
③講師の話聞いてみたい36 ④国の動向や見解を知りたい17
⑤その他7

- ・初めて聞く言葉であったので、↑ようなことを考えずに受講しました。
- ・学校での指導で活かせることを知りたい。
- ・プレコンセプションヘルスケアについて知りたい。
- ・授業におとしこめるか？
- ・日本と海外の違いをもっと聞きたかった。
- ・特になし ・(空欄)

(2) 本日の満足度についてお聞かせください。**① 大変満足35(43.8%)****【普段なかなか聞くことができない内容であった】**

- ・プレコンセプションケアについて生活指導では新しい分野の研修だったから。
- ・なかなか触れづらい内容について改めて理解することができた。
- ・普段聞くことのできない内容であった。
- ・普段なかなか知ることができないテーマだったため。
- ・中学校ではなかなか扱う事が難しい内容に関するものであったから。

【もっと詳しく聞きたい内容であった】

- ・とても分かりやすい内容でした。もっと詳しく聞きたいです。
- ・たくさんの大事なお話がかけあしだったのが残念。

【新たな視点・知識を他国の状況を含めて得ることができた】

- ・健康教育の必要性を性教育と絡めて再認識できたから。
- ・自他ともに心身が健康であることが大切であることを具体的に理解できた。
- ・児童だけでなく、大人も知らない性についての知識を得られた。
- ・いつ子どもたちに伝えるのかは難しい問題ですが、子どもがどのように生まれるか知ること、子どもたちが命の奇跡を感じ、命をより大事にしてくれるのでは？と思うから。
- ・女性特有のことだと考えていた面もあり、少しいい面もあった。教育者としても正しい知識を身につけることが大切だと思った。
- ・結婚を考える前からプレコンセプションについて考えている必要があることがよく分かった。
- ・他の国がどのような取り組みをしているか分かりやすかった。
- ・新たに学ぶことが多かった。
- ・最新の知見や他国の状況を知れたことは大きい。
- ・他国のことも含め、多くの情報を得られた。
- ・知らないことをたくさん伺うことができた。他の国の状況なども知ることができてよかった。
- ・知識としてなかったものを多く得ることができた。
- ・正しい知識や情報を知ることができた。
- ・資料がすごい！と思いました。

- ・プレコンセプションヘルスケアについて知ることができた。
- ・自分の知らない情報を多く知ることができたから。
- ・話がとても具体的で分かりやすかったです。
- ・とても勉強になりました。
- ・丁寧にかつ詳しく教えて頂きました。

【専門的なデータ等を専門家から聞くことが良かった】

- ・専門的な話やデータを知ることができたので。
- ・大切な話を医療の専門の方から聞くことができたので。
- ・3月までアメリカに留学されていた先生のお話を聞いたこと。

【自分自身が知りたいことを聞くことができた】

- ・不登校対応加配の教員の配置と取り組みについて知ることができた。また、プレコンについて、私自身も早い段階で知りたいと思っていたので、今日の内容はとてもよかった。
- ・不妊治療をしています。タイムリーなお話をきけて、本当に良かったです。

【学校で実施してもらえるとよい】

- ・中学生の娘もおり、学校で実施していただけるとありがたいと思う内容でした。

② まあまあ満足31(38.7%)

【普段なかなか聞くことができない内容であった】

- ・“プレコンセプションヘルスケア”という言葉は初めて聞き、その大切さを感じることができた。
- ・プレコンセプションヘルスケアの概念や話を初めてきいたから。
- ・プレコンセプションヘルスケア等についての話は、ある程度知っていてもわかっていないことがほとんどだったので、改めて知ることができてよかった。
- ・初めてプレコンセプションヘルスケアについて学べた。
- ・性に関する講演を聞いたことがなかったので、新鮮だった。

【もっと詳しく聞きたい内容であった】

- ・ワクチンに関するお話をもっと聞きたかった。
- ・もっと時間をかけて詳細な内容までご講演いただきたかった。
- ・もう少し時間をかけて聞きたい話だった。
- ・現在における日本のプレコンセプションについて学べた。話も聞きやすく分かりやすかった。もう少しわしく知りたい所があったが、時間の関係で聞けず残念。
- ・内容が興味を引くもので良かったが、途中でかけ足になってしまったのでしっかりと聞きたかった。

【新たな視点・知識を他国の状況を含めて得ることができた】

- ・なぜリプロダクティブヘルスライツの考え方が必要なのか良くわかった。
- ・現在の自分の健康を整えることの重要性、自分や他の人を大切にすることについて学ぶことができた。
- ・プレコンセプションヘルスケアについて知ることができたので。
- ・現在における日本のプレコンセプションについて学べた。話も聞きやすく分かりやすかった。もう少しわしく知りたい所があったが、時間の関係で聞けず残念（重複）。
- ・最新の取組みについて知ることができた。
- ・プレコンセプションヘルスケアについて、ほとんど知らなかったが、大切なことを知ったと感じた。
- ・内容の重要性を知ることができた。
- ・不勉強な内容(自分自身の)を知ることができ参考になった。
- ・知識が増えたから。
- ・性に関することを改めて学ぶことができたから。
- ・知らないことを知れた。
- ・新たな視点が得られた。

【専門的なデータ等を専門家から聞くことが良かった】

- ・内容が専門的であった。

【子どもたちへの指導にどう生かすかが課題】

- ・内容は大変に勉強になったが、どう生かすかはむずかしい。大人全員できいたらよいと思う。

【その他】

- ・性に関する知識をオープンにしてよい雰囲気作りを考えたいです。
- ・小学生には、少し縁遠いかなと感じた。
- ・時間配分がどのようになっていたのか、資料が多く、伝えたいことがすさまじい勢いだった。

③ 普通12(15.0%)

【子どもたちへの指導にどう生かすかが課題】

- ・小学校の子どもへの指導の具体的なことが見えにくかった。
- ・知識を得たり、アップデートしたりできたのは良かったが、生徒にどのように還元するか思いつかなかった。
- ・小学生、中学生に対して、どのような指導を行うことが大切かを中心に話してもらいたい。発達段階に応じてどこまで教えるのか。
- ・授業で使うイメージができない。
- ・具体的な生徒への対応策や保護者対応例が聞きたかったから、保健体育とは異なるもの。

【その他】

- ・保健？性教育？私たちが学ぶべきことがぼやけていたように思う。
- ・私自身の知識がとても乏しかったので、なかなかついていけない情報量だったため。
- ・時間が短かったこと。
- ・初めて聞く話だったので、今日の話が基準となっていくと思う。

④ やや不満1(1.3%)

- ・生活指導主任より、保健体育科の先生が聞いた方が役立てやすい。

⑤ 大変不満0(0%)

⑥ 無記入1(1.3%)

- ・初めて知る内容だったので、勉強になりました。

(3) 本日参加されて、今後取り入れたいと思った点や、難しいと思った点をご記載ください。

【保健の授業等で取り入れたい】

- ・「自分を大切にする」という内容は取り入れたい。
- ・やせ願望についての正しい知識の伝達
- ・小学校として、性というより人権教育の一つとして考え、大切にしていく(自分、相手)の点からアプローチしていきたい。(LGBTQは取り入れている)
- ・ヘルスリテラシーを子供たちに伝えていくこと。また、教師側もきちんと理解すること。
- ・小学5年生の担任なので、今回の資料やワクチンについて男子にも女子にも伝えていきたいと思う。
- ・赤ちゃんの臓器の完成についてや、やせ願望が影響することを伝えていきたい。
- ・養護教諭と相談しながら、性の授業や安全指導(教育)として取り入れ、実施したい。
- ・子供に人生を考えるという場をできるところからやってみたい。
- ・内容により、保健の授業で取り入れたい。デリケートな内容なので、自分自身がきちんと理解し、正しい知識を伝えること。

- ・プレコンセプションヘルスケアのチェックシートは、小学校高学年から取り組めると思った。保健の授業で使いたいと思った。
- ・小学校で、今まで高学年を担当していても、性に関することなどくわしくは指導したことはなかった。相談されたり、聞かれたりしたら、正しい知識をもとに伝えてあげたいと思う。
- ・性に関して、正しい情報を伝えたいと思う。

【養護教諭等と連携して対応したい】

- ・女子児童への生理に関する指導は、養護教諭に協力してもらっている。男性としてはやりづらいと思う。
- ・性の病気のリスク、男性教員が女子生徒へ指導するのは難しいかなと感じた。本日の講義を女性教員、養護教諭と情報共有する。

【指導内容や時期について難しさがある】

- ・性自認について、小学生にどのように授業をするのか。
- ・小学生に対して、どのような指導が適しているのか難しいと思った。
- ・小学校のため、高学年(5, 6年)の性教育の時間に取り入れられるかと思うが、男女別の時間を設けることが全て可能ではないことと、教育によってどこまで深入りできるかが不明のため難しい。
- ・小学生に向けての性教育。
- ・小学校の児童へ、どのタイミングで、どのような内容が適切かどうか悩む。
- ・小学生にどこまで伝えるか、いつ伝えるかが難しい。
- ・小学生に必要な、適した内容で、保護者の理解を得た指導はどうしたらよいだろう。
- ・小学校では高学年でも発達(心も体も)にかなり差があるので、話をするとき、どのように配慮しながらすればよいのかと思う。
- ・児童へどの程度、伝えるべきかの判断。
- ・中学生に性について伝えることは、伝える場や伝え方についてまだ難しさを感じてしまう。今後、より良い伝え方を学びたい。
- ・授業で使うイメージができない。
- ・若手職員への啓発、児童への指導
- ・低出生体重に対して、母体の大切さを伝えられると思う。やはり、何歳からどのような話をしていけるか難しい点である。
- ・SRHRについて、いつ、誰が、どのように児童・生徒・若者たちに伝えていくべきなのか？
- ・何をどのようにどこまで、子供に伝えるかが難しい。
- ・実際に生徒へどのように伝えるかは難しい。
- ・担任の立場から話すのは難しい。性の話はタブーである雰囲気がある。
- ・我々が学ぶことを生徒にどのように伝えるかということはやはり課題なのだと思います。
- ・性の知識や体のことについてどう生徒に伝えていくか。
- ・男女の性については、取り扱うことがむずかしい。しっかり学んで、前提条件を整えることが大切だと思った。
- ・校内に還元するにあたって、情報を精選することが難しいと思いました。
- ・自分の子供には本研修で教えて頂いたことを積極的に伝えていきたい。学校現場では、どこまでを授業で扱っていくのか、またどのように伝えていけばよいのか難しさを感じた。
- ・性の知識・学習は、センシティブな内容と捉えられており、簡単(身近?)な内容ではない。
- ・児童の発達段階や保護者の認識の違いで、どの程度公教育として学習するかが難しい。

- ・学校教育でどのように扱っていくのか… 国や都・区で方針を決めていくと学校でも取り扱いやすくなると感じた。

【子どもたちに伝えるための時間確保が難しい】

- ・伝える時間の確保、バックボーンや他教科とのつながり(小学校)において困難。よいものは早く教えればよいというわけではない。三戸先生の話はとてもおもしろいし重要。人を大切にしたい。なので、より多くの人をきける機会を。
- ・主任→校内のルートで全生徒に伝えるのは、時間確保を含めてむずかしい。
- ・とてもすばらしい内容だが、これを教員が教えるのか…ということ。教えるための時間数が現場にあるのか。
- ・授業のカリキュラムにどう入れこんでいくかが難しいと思います。
- ・小学校のため、高学年(5, 6年)の性教育の時間に取り入れられるかと思うが、男女別の時間を設けることが全て可能ではないことと、教育によってどこまで深入りできるかが不明のため難しい。(重複)

【指導する教員の知識習得の課題がある】

- ・教育活動の中に取り入れたいが、教える側の知識や指導方法が不十分に感じた。
- ・専門知識のため、生徒への伝え方がむずかしい。
- ・教員が大人の人たちが、今回の講義内容に関する理解があるのかが非常に難しいと思った。
- ・自分が教えるとなると、難しいと感じてしまう。
- ・小学校高学年から、知った方がよい内容だと思ったが、担任として、子供たちに伝えていくこと(内容)が難しい。ただ、保健の学習と重なるところが多いと思った。

【専門家からの講義を生徒に設けてもらいたい】

- ・専門家の方からの講義を生徒にも受けさせたい。
- ・ヘルスリテラシーを中学生のうちから学ぶことが大切。ぜひ区の実践として各学校でゲストティーチャーを招いて授業してもらいたい。

【その他】

- ・教員として、必要な心構え、知識等だと思った。
- ・“いまの自分は、過去の自分から作られる”、受精の時の男女の健康状態が大切とのこと、何となく知っていたが、改めてそのような情報を持つことが必要だと感じた。性に関する正しい知識を持つことは少しはずかしく思っていたが重要だと思った。
- ・妊娠を考える前から、これらの知識を知ること、将来につながってくると思いました。
- ・ふだんから、体のこと性のことが話せるようになる。健康、体重も関係があること。
- ・性に関する正しい知識と伝達方法(ヘルスリテラシー)
- ・今回の講演での知識をしっかりとつけていきたい。
- ・厚労省の資料をまず確認してみる。
- ・どうしたら性の問題をオープンにできるか?
- ・性に関する教育の国際格差を感じた。
- ・他の国がくわしく考えていることを考えると、日本もそれに準じていくべきではと思えた。
- ・親→子に教えるべきことと、学校→子に教えるべきことの線引きが難しいなと思います。
- ・保護者(教育の第一義的責任者)はどの程度必要だと考えているのか気になります。家庭と連携して行いたいと考えています。

(4) これまで生徒から性に関する相談を受けたことがありますか。

①ある17(21.3%) ②ない63(78.7%)

→「ある」を選択した方へ 具体的な相談内容について可能な範囲で教えてください

【生理】

- ・高学年女子から生理についての相談(生理痛がある、生理を気づかれたら恥ずかしい、生理になったかわからない)
- ・生理になってしまったらどうしたらいい?
- ・生理が重いから体育を休みたいが他の人に知られたくないのでけがをしたということにしてくれと言われた。
- ・生理の周期や痛みなどについて。妊娠に関して。

【性の多様性・性自認・性的指向】

- ・ジェンダーについて、発達について。
- ・性自認が女性の男子。この児童が中学生になり、着替えを教室でしないという相談。別児童→性自認女性?同じクラスの男子児童が好きで、その子が他の男子と話しているのを見るとつらい。過呼吸になってしまう。
- ・性自認について。
- ・性指向や性自認について相談を受けた。
- ・女の子が女の子を好きになったかもしれない。どうしたらいいかわからない。どうしよう。
- ・4年の保健で、体の性と心の性の学習をした際、ワークシートの余白に「自分はレズなので…」と書いていた子がいた。(その子は女子) みんなに LGBTQ についてもっと知ってもらいたいというものだった。
- ・男女別で並んだり、活動したりするときに、女子の方ではなく、男子の方にいたい。女子の方は嫌(小2女子)

【その他】

- ・女子児童より男子児童が性的な話題をしてくるという相談をされた。
- ・交際している相手との関わり方、距離感について、女子生徒から相談を受けた。
- ・どのように子供ができるのか?
- ・コンドームの使用方法、望まない妊娠、性的接触後の病気のリスク
- ・ボーイッシュな女の子で男の子にまちがわれることについて。

(5) これまで保護者から生徒の性に関する相談を受けたことがありますか。

①ある23(30.0%) ②ない56(70.0%) 無記入1(1.3%)

→「ある」を選択した方へ 具体的な相談内容について可能な範囲で教えてください。

【生理】

- ・宿泊行事中の生理について。
- ・生理が始まった旨の連絡。
- ・重い生理時の欠席について。
- ・小学校中学年からの生理の指導・フォローについて。

- ・知的に課題をかかえていたり、身体に課題をかかえていたりする児童の保護者で、月経の処理の仕方
や体の変化について。

【性の多様性・性自認・性的指向】

- ・生徒の自認の性に関すること。
- ・性自認が女性の男子→兄から宿泊行事のことを聞き不安感をもっている。まだ低学年だが、今後体育
の着替えなどどうするとよいか相談有。
- ・性の目覚めが早いので、早めに保健の授業をしてくださいと夏の面談で言われた。息子は、ゲイでは
ないか。親としてどう受けとめればいいのか、と相談された。
- ・娘は、ノンバイナリーだと思う。(小5女子)
- ・性自認について。
- ・女の子が女の子を好きになったかもしれない、どうしたらよいかわからない、と保護者にも打ちあけ
られました。

【マスターベーション・性器を触ること・体を触られること】

- ・特別支援に在籍していたときに「子供がマスターベーションを止められない」ということで相談され
た。
- ・子供が性器を触ることについて相談された。
- ・子供(男子)に体を触られるが良いかと相談された。
- ・異性の児童から、自分の子が体を触られることについて相談された。

【インターネット等情報とのかかわり方】

- ・インターネットや YouTube から下品な知識(情報)を先に得てしまい、両親が話そうとしても真面目に
聞き入れてもらえない。
- ・タブレットで性的動画を検索していたことが履歴に残っていた。母親の下着を自分のベッド下に隠し
ていた。(父より)どう関わればいいのか。
- ・エロ本をこっそり買う。エロサイトに課金している。

【その他】

- ・男子生徒の性に関する内容について、保護者がどこまで介入、声かけをしていくべきか。
- ・子供から、性についての質問をされるがどのタイミングでどのように話すべきか悩んでいる。
- ・対応の仕方
- ・ボーイッシュな女の子で男の子にまちがわれることについて。
- ・性教育、男女の体・発達
- ・年の近い兄妹の関係、近さ。母子家庭の生徒(子)への接し方。
- ・自分の子供がトラブルに巻きこまれないかという心配事。

(6) 現在、区では、「思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス/ライツ周知啓発」について、
専門部会にて検討を重ねています。12月16日(土)に中高生の保護者向けオンライン講
座を、令和6年3月を目途に中学生向けリーフレットを作成予定です。今後、区で実施する
講座にて期待する内容等を教えてください

【専門家による子どもたち向けの講座を学校で開催してほしい】

- ・中高生に直接、周知啓発をして頂きたいです。
- ・直接学校で講座を実施してほしい。

- ・今日の内容は、全中1、もしくは小6が知るべきかと考える。講師を専任でやとい、全小中学校を回れないでしょうか。もしくは、オンラインでいつでも見られるなど…。今日の内容を指導することを現場に託すには少々きついかなど…。
- ・オンラインでなく、各学校で対面でやってほしいです。(ぜひ保護者も入れて)
- ・学校での講演会
- ・実際に中高生が話を聞くことが大切だと思う。その機会があるとよいと思う。
- ・生徒向けに、今回受けているようなものを聞かせたい。
- ・今日のような内容をネット配信して、生徒にみせられるようにすると良いと思います。
- ・本日の内容を、中高向けに出張授業をしたらよいのではないと思う。専門家に聞くことで冷やかしにならないと思う。
- ・現在ある授業(体育・家庭・道徳)にカウントできるかたちで、学校向けに行っていただきたい。
- ・学校の授業で扱えるようなリーフレットや映像コンテンツ、また派遣講師の先生など、専門的知識を教育現場に提供していただけると大変有難いです。
- ・小学校高学年向けにも啓発の内容、方法を検討・実施していただければと存じます。

【保護者向けの講座】

- ・保護者向け、性に関する伝え方のアドバイス。
- ・思春期の心のもやもやにどのように接していくのか。本人・教員・家庭のそれぞれの立場からわかる内容があるとよい。
- ・児童、生徒、保護者への性、避妊(コンドームの使い方)等。性教育。性自認。

【親子で参加できる講座、媒体があるとよい】

- ・親子で気軽に参加できるような、参加しやすい形での講座だとよいと思います。
- ・小学生に向けた親子で話すときに使えるリーフレットなど。※まなブック活用してみたいです。

【教員が授業で利用できる媒体等を知りたい】

- ・授業方法に落とし込んだ内容、伝える形になったものを知りたい。
- ・伝えていくレベルのガイドラインがあると分かりやすいと思う。
- ・学校の授業で扱えるようなリーフレットや映像コンテンツ、また派遣講師の先生など、専門的知識を教育現場に提供していただけると大変有難いです。(重複)
- ・子供の性への保護者の関わり方(指導)

【本日の内容を伝えてほしい】

- ・本日の内容を少しでも多く取り上げてほしい。
- ・本日の内容のような新しい情報をお伝えいただけるとありがたいです。
- ・本日の内容がわかりやすく良かったと思います。

【その他】

- ・性に対して正しい知識を知ること 3
- ・健康についての正しい情報と、それを得られる窓口。
- ・正しい情報を安心して学べる講座。
- ・性感染症・性について
- ・自分の性を知る。妊娠と健康。
- ・「望まない妊娠」「正しい避妊方法」「妊娠をめぐる健康問題」など啓発していけるとよいと思いました。
- ・相談施設の紹介、薬物、他の健康なからだところづくり。

- ・ヘルスリテラシーを正しく理解すること、未来の子供たちに向けて。
- ・性に関する多様性、またそれを受け入れていくこと。男性と女性の身体のちがいなど。
- ・ジェンダーに関する教育の在り方、本人との接触の仕方、周囲への理解のさせ方。
- ・児童、生徒、保護者への性、避妊(コンドームの使い方)等。性教育。性自認。(重複)
- ・思春期の心のもやもやにどのように接していくのか。本人・教員・家庭のそれぞれの立場からわかる内容があるとよい。(重複)
- ・若年層だからこそ知っておくべきことを学ぶ機会となること。
- ・子供たちが自分事として考えられる内容であればいいと思います。
- ・生徒一人一人が性について考えるきっかけになるといいと思う。
- ・話題のもっていき方
- ・横文字が多いので、中学生にもわかりやすい言葉を多く使ってほしい。
- ・今回の研修のより細かな内容を教えていただきたい。
- ・数多くの人にわかりやすく動画では
- ・見やすく、分かりやすいものを作っていただきたい。
- ・保健の授業以外で、生徒にどのように伝えていくか。
- ・具体的な日本の学校教育における実践事例を知りたいです。
- ・具体的な事例、どんな案件があっただろうかどう対応したかなど
- ・特になし 2

(7)その他、ご意見やご要望などがあれば、ご記載ください。

【今回の内容を子どもたちにも知らせたい】

- ・区で予算をつけて、各学校で講演してほしい。知らずに大人になり、子供をほしいと思ったときに初めて知るパターンが多い。
- ・とても素晴らしいご講演ありがとうございました。子供たちと共に今回のお話を聞く機会がいただけたら…と思いました。とても大事なこと。子供たちにも知らせたいです。
- ・全生徒へ伝える必要のある内容。教えることを学校と教員に委ねると不正確になる恐れがある。全生徒に対して専門講師による講義をするようにしていただきたい。教育課程の中に組みこんでいただきたい。

【その他】

- ・子を持つ親として、勤務地である世田谷だけでなく、全国にこの流れが広がってほしいと考えました。そのために、今いるクラスで日々の健康の重要性を訴えていきたい。
- ・海外での取組み→発達段階によってどのように教えているのか、少し今回お話がありました詳しく聞きたいと思いました。
- ・妊娠・出産のため(児童期、又はこれから大人ができることがあれば教えていただきたいです。)
- ・保健の学習について、どうしたらよいか?
- ・ヨシタケシンスケさんのイラストが入ると敷居が低くなりますね。
- ・時間を守ってほしい(3時45分を過ぎていました)。
- ・特になし 5
- ・ありがとうございました 5

アンケートは以上です。ご協力くださり、ありがとうございました。

世田谷保健所健康推進課